

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年12月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103482
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 玉里
所在地	鹿児島県鹿児島市玉里団地二丁目5番1号 (電話) 099-220-3115
自己評価作成日	平成25年11月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年11月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・同一敷地内に内科系のクリニックがあり、医師2名と看護師、薬剤師がおり医療面のサポートが受けられるので、安心して利用者を預けられると、御家族から喜ばれている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・理念を大切に、「目配り、気配り、心配り」をモットーに、代表者や管理者・職員が協力して利用者の気持ちに寄り添い、サービスを提供できるよう努めている。
- ・当事業所は玉里団地中央の住宅団地一角に立地している。周囲には、商店街や銀行・郵便局・飲食街・バス停等があり、利便性が高い。3階建てビルの1階がデイサービスセンターで2階・3階が当事業所となっている。
- ・母体医療機関が隣接し、24時間対応や往診ができ、医療機関との連携体制が整っている。
- ・看取りについて、母体医療機関と職員が連携し、本人や家族の意向を確認しながら支援する体制ができている。
- ・運営推進会議での提案で梯子車による訓練を実施するなど、サービス向上に活かしている。
- ・家族の面会が多く、家族会や各種行事を通じ懇談を心がける等、家族と信頼関係が築けている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に提示し施設内にも提示している。モットーとしている目配り・気配り・心配りをミーティングで話し日々努力している	理念は事業所内に掲示し、ミーティング等で確認し、利用者に寄り添い、心と心のふれあいを大切に、よりよいサービスが提供できるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中学生の職場体験学習の受け入れ、友人の面会などや朝夕の挨拶をしている、地域周辺の掃除をしたり毎日の食材を地域の商店やスーパーで購入し交流を図っている	町内会に加入し、地域の夏祭りや清掃活動に積極的に参加している。また地域の商店やスーパーマーケットで食材購入を行い、買物で地域住民との挨拶や会話を楽しんでいる。幼稚園児との交流や中学生の職場体験の受け入れなどの交流も図っている。事業内容理解のために民生委員の見学もあった。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方から認知症や介護方法申請の仕方等について相談されるので施設長が相談にのっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長や民生委員の方が大変協力的であり、運営推進会議などで意見を下さるのでサービス向上に役立っている</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価調査結果報告・非常時の対応等について意見交換が行われ、近隣住民の避難場所として受け入れ方法の検討や梯子車を使っての避難訓練の実施などを行い、サービス向上に活かされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護相談員を受け入れている、また問題点など話合っている、生活保護の方が入居して居られるので保護第一課の方が来られた時に必要に応じて相談している</p>	<p>市担当者を訪ね運営に関する諸問題や利用者の暮らしぶり・ケアの様子等を伝え、アドバイスをもらっている。市主催の研修会に出席している。介護相談員の受け入れをするなど連携を図っている。福祉担当者とも密に連絡を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束を行わないということを定期的に職員は研修し正しくそれを認識しており身体拘束のないケアを実践している</p>	<p>契約時に身体拘束をしないケアについて事業所の方針を説明し、同意書をもらっている。毎週1回研修会で意見交換し、日頃のケアを振り返っている。一人ひとりのその日の状態をきめ細かく把握しながら、見守りの重要性を認識している。昼間の玄関は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々のケアの中でどのような事が虐待にあたるか、申し送り・研修の時に話す機会を持ち虐待防止に努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用している利用者の方は居られませんが、成年後見制度について学ぶ機会を持ち活用できるようにしている</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>時間をかけて丁寧に説明している、特に利用料金や入居によるリスク・重度化・看取りについての対応で医療体制の実情について詳しく説明している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職員は努めて入居者と話す機会を持ち思いを聞くようにして、介護相談員の方の御意見や家族会での御意見も参考にしている	日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意し、利用者からは生活の中で意見等を聞き、家族からは、家族会や面会等で意見を出してもらおう工夫をしている。出された意見や要望等は職員で話し合い反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝のミーティングは入居者の状態報告ばかりではなく、職員の意見や提案を聞き運営に反映させている	管理者は、日頃から職員とコミュニケーションを図り、ミーティング等で職員の意見や気づきを聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き、産休代替を設けたり、適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	家庭との両立がしやすいよう希望する日に休めるように配慮し職員が働きやすいようにしている、また、正職員が多く希望通り年休を取得している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内によりそれぞれの段階に応じた研修を受講する機会を確保している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域ケア会議やグループホーム連絡協議会に加入し研修に参加している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族からの情報や本人が困っていること・要望に耳を傾け気持ちの表現しにくい表情や反応から思いを把握する努力をし、声かけを行い、安心感を持ってもらえるようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族や本人の希望や意向を聞き事業所としてはどのような対応ができるか話あっている、また家族へは面会時、職員の方から要望や困りごとのヒヤリングに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の希望を第一に考えどのようなサービスが必要か適時話あっている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いや気持ちを充分に知ることに努め、洗濯物タタミや片付けなど一緒に行い、日々の暮らしの中で共に支えあう安心感のある関係作りに留意している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の訪問も多くあり、食堂や居室で一緒にお茶を飲んだりしながら、共に利用者を支える為の知恵を出し合っけてゆく関係を保つように努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の老人会の方が週1回来られたり、外出を希望される時は御家族の協力をお願いしている（墓参り・美容院・山形屋での買物など）	馴染みの知人や友人の訪問の際には、居室を開放している。将棋を楽しんだりお茶を飲んだりと継続的關係が途切れないよう支援に努めている。家族の協力でデパートや美容院・墓参も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の相性や関係性を把握し、必要に応じて職員が間に入り声かけし、レクやお茶の時スムーズに会話ができるよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	殆どの方が看取りを希望されている為途中でサービス利用が終了することはないが、死亡退去及び転院後も御家族の相談に応じている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者一人ひとりの思いや希望を把握できるよう努めている、思いをうまく伝えられない方は表情やしぐさ、普段の会話から把握できるよう努めている	家族からの情報を得ながら、日々の関わりの中で様子を観察し、表情や言葉などから意向の把握に努めている。把握が困難な場合、利用者の視点に立って職員間で話し合い、情報を共有し本人中心に支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者一人ひとりの生活暦を本人、御家族の話聞くことにより把握し、事業所としてどのように対応し以前の暮らしに近づけるか検討している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の方のペースで過ごせるよう、一人ひとりの習慣・好み・持てる力など現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時は御家族、本人の希望や要望を聞き、職員の気づきや意見も参考にしている、また、モニタリングは3ヶ月毎に実施している	本人や家族の意向を汲み取った上で、職員の気づきや意見を取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護や介護計画に反映させるため、入居者一人ひとりの状況や変化を記録し介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	適時、協力病院の24時間対応や往診、また、他科受診など対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーへの買物や近くの公園への散歩、ディサービスの敬老会参加などの支援を行い安全に安心して楽しめるよう努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同一敷地内にある母体病院への受診付き添いや他科受診時の御家族の同伴、職員の付き添いなど状況に応じて対応している	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関の週2回の健康観察や薬のチェック、緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療を受けられるようにしている。通院は家族の協力を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々の関わりの中でつた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	施設長が薬剤師、管理者が看護師である為、相談しやすく介護と医療の両面から入居者を支える体制が整っている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入居者の方が入院した際は母体病院の主治医より紹介状や各病院とのサマリー交換や情報提供を行っている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	既に何件もの看取りを行い、重度化に伴う終末期については母体病院と薬剤師である施設長、看護師の管理者、職員が連携し本人や御家族の意向を確認しながら支援する体制がある	契約時に、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し確認をしておいている。看取りについては、本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して支援している。職員全員がその方針を共有している。すでに看取りの経験がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	事故発生時のマニュアルを参考にして話し合いや訓練をしている、応急手当は主治医より指導を受け実践力を身につけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災などの災害時には近隣の住民に協力を頂けるようお願いしている、避難訓練は昼夜間に対応した方法を訓練している	年2回消防署立ち会いのもと、避難訓練を実施し、3階からの梯子車による訓練も実施している。同敷地内の事業所職員や地域住民との協力体制もできている。消防設備の定期点検やスプリンクラーも設置され、非常用の食材や水の備蓄もある。	
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の人格やプライバシーを損なわず、否定的言葉を使用しないよう徹底しミーティングでも話し合い、研修も行っている	日々のケアの中で、人格やプライバシーに配慮し、人としての尊厳を保てる言葉かけや対応に心がけている。ミーティングや勉強会を行っている。否定的言葉を使わず、需要する態度で接することを大事にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中でケアを無理強いせず本人が何をしたいか確認し、また、表情やしぐさで思いを受けとめられるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の生活を本人が好きなように（テレビを観たり、居室で過ごしたり）過ごして頂いている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪のカットは御家族の許可を得て職員が個性を大事にしたカットを心がけて行っている、また御家族が美容室に連れて行って下さっている方も居られる		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は個々にあった大きさに食べ易く切ったり、軟らかく炊いたり、目で楽しめるように彩りや盛り付けを大事にし、また一緒に食事前の準備や片付けなど行っている	食事が一日の大きな楽しみとなるように、嗜好に配慮した30品目の食材で献立を工夫している。また利用者の個々の力を活かしながら準備や片付けなど職員と一緒にしている。嚥下体操も実施している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは一日30品目を確保するよう献立を作成し、また入居者の体調や状態を観ながら調整を行い、水分も必要量、摂れるよう声かけしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけ見守りしながら口腔ケアを行い、就寝時は義歯の洗浄をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の状態に合わせ、居室でもポータブルトイレを使用したり時間を見ながらトイレ誘導を行っている、また布パンツに替えている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。果物やヨーグルト等で食生活を工夫し、自然排便に取り組み、排泄の自立に向けた支援をしている。改善がみられた例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩やレクなどの適度な運動やヨーグルト、水分補給など工夫し自然排便に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日曜日以外は毎日入浴の準備がなされている、職員はバイタルを見て声かけし、拒否のある人は時間あけ、再度声かけしたり翌日にしたりと気持ちよく入浴してもらえるように支援している	基本的には週3回、一人ひとりの希望に添った入浴が楽しめるように支援している。入浴を拒む人にも、職員間で連携し、声かけなど工夫し、状況改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペースにあわせ、食堂のソファや居室で休まれたり、昼寝ができるように見守り対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は個々の薬の目的を周知しており確実に服薬できるよう支援し、薬変更があった時は、その都度話し合いをしている、また服薬もれがないように記録している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者一人ひとりが楽しめる事や得意なものができるように支援している（テレビ・週刊誌・掃除・洗濯タタミ）		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	歩行や外気浴など天気や本人の体調、気持ちを聞きながら実施し、また外出は御家族の協力を得て、本人の希望に応じた外出ができるように、心がけている	日常的には近くの公園まで散歩したり、近隣のスーパーマーケットへ買物に行ったりしている。計画を立てて花見や木市等に出かけている。車椅子対応も行っている。家族の協力で外食や墓参・買物にも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、お金の自己管理をしている方はおられないが、希望があれば、職員と一緒に管理が出来るように配慮する		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	遠方にいる家族からの電話など本人がゆっくり話しができるように支援を行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を食堂・玄関に飾ったり、行事毎に雛人形や鯉のぼりを飾り季節を感じて頂けるよう配慮している、日差しはカーテンで小まめに調節し、窓の開閉で温度・湿度・換気をしている	共用空間は換気や採光に配慮し、季節感を大事にした飾り付けがなされている。フロアにはゆったりしたソファが多数置かれ、好みの場所で心地よく過ごせる配慮がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で過ごされたい方は居室でゆっくり過ごされるよう見守りし、また食堂で気のあった同士で話しができる雰囲気作りに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で慣れ親しんだ物を持ち込んで頂き、居心地よく過ごせられるように配慮している	ベッドや整理タンス・洗面台は備え付けである。ミシンや位牌・家族の写真など馴染みの物が持ち込まれている。夫婦共の利用もあり、利用者が居心地よく暮らせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりの身体能力に合わせて介助を行い、またトイレや浴室にある手すりなどを使い、安全に安心して移動ができるよう工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない